

開催趣旨

古代・中世の外交施設「鴻臚館」が消えて500年後、「福岡城」はなぜまったく同じところに作られたのか。古くからの国際交流都市「博多」との関係は。これと似た史跡が、古代の副都「難波京」に作られた「大坂城」です。二つの城郭と都市計画はともに太閤秀吉と黒田官兵衛のコンビがデッサンしました。「大坂城」と「福岡城」には、どのような狙いが込められていたのか、古代から近世への重層性のある大型史跡を観光都市の魅力あるシンボルにできないかを考えます。

プログラム

- 13:30 主催者挨拶:石井 幸孝 福岡城・鴻臚館を活かした観光都市戦略事業実行委員会
委員長(NPO法人福岡城市民の会 理事長)
- 13:35 来賓挨拶:
- 13:40 講演:「難波京から大坂城へ」(45)
積山 洋:大阪文化財研究所学芸員
鴻臚館も存在した「難波京」跡には、石山本願寺の騒動を経て、初めての近世巨城「大坂城」を築き、隣接して城下町も建設し、国際都市大坂が造られました。その経過を追い、「上町台地」の戦略的重要性も学びます。
- 13:25 質疑(10)
- 14:35 休憩(10)
- 14:45 講演:「鴻臚館から福岡城へ～中世の博多から考える～」(45)
佐伯 弘次:九州大学文学部教授
「鴻臚館」が歴史から消えた後、元寇や戦国時代の騒乱を経て、海に面した名城「福岡城」が築かれ、商都「博多」も共存する城下町を造りました。どんなドラマがあったかをたどり、この場所の特異性にも思いを寄せます。
- 15:30 質疑(10)
- 15:40 創作映像「動く鴻臚館にご案内」(岡田 義広:九州大学教授、室川 康男:画)
- 15:50 パネルトーク:「古代から近世へ・大坂城と福岡城」(40)
積山 洋:大阪文化財研究所事業企画課普及係長
佐伯 弘次:九州大学文学部教授
- (進行) 石井 幸孝:NPO法人福岡城市民の会理事長
問題意識:こんなに似ている、大型ランドマークになっているか
①大坂・福岡の類似性
②秀吉・官兵衛の狙いは
③古代・近世・現代が繋がる都市発展
④重層性ある史跡の復元整備への智慧
- 16:30 (閉会)
司会進行 森 美奈子 NHK福岡放送局 (敬称略)

参加お申込み

fax、メールでお申し込みください(定員超でご参加いただけない場合のみお知らせします)
fax:092-716-8254 E-mail:info@fukuokaoshiro.com
お問い合わせ:事務局 電話:092-716-8238

FAX用紙 第4回 市民フォーラム 参加申込書(全員のお名前をお書きください)

お名前	計 名	連絡先(代表者電話番号等)

市民フォーラムは福岡城整備基金を応援しています！

福岡城 基金

検索 